

地域学校協働活動に対する 下関市立大学(教職課程)の取組

発表者:下関市立大学 経済学部

○井上 奈菜美、○馬場園 友吏江
木村 拓磨、竹下 諒、坂口 ひかり、中居 雅博
辻 優妃、伊藤 佳菜子、久保田 菜摘



下関市立大学の概要

●下関市の人口 約27万人

公立大学法人

下関市立大学
Shimonoseki City University



経済学部だけの
単科大学
学生数は約2千人

経済学部の教職課程として

●取得できる教育職員免許状

中学校	社会科
	地理歴史科
高等学校	公民科
	商業科

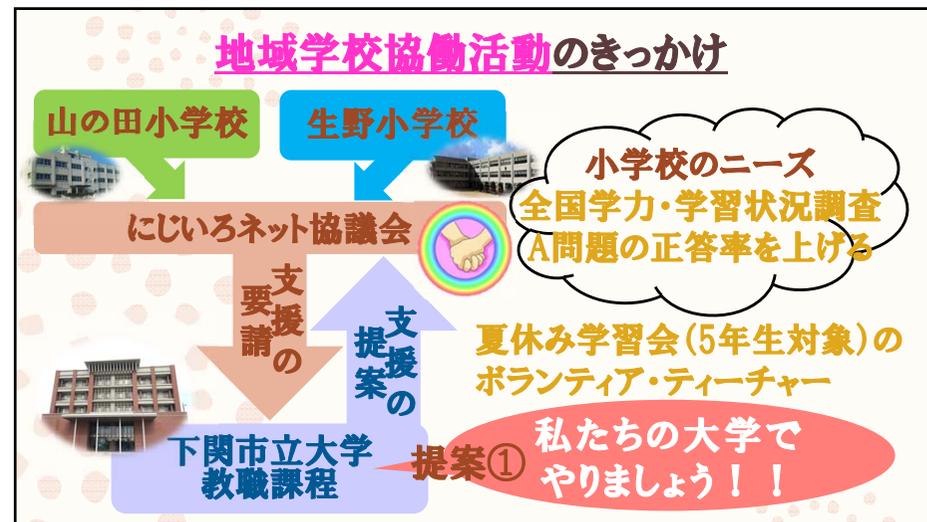
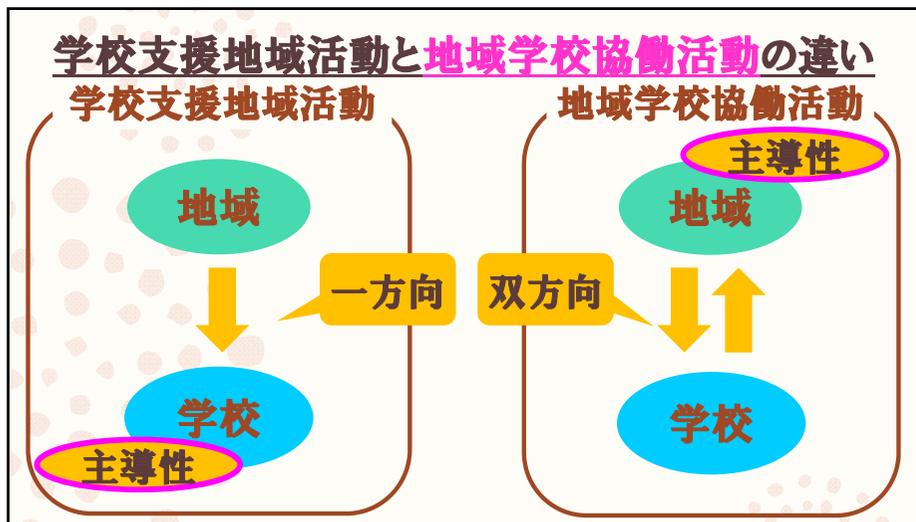
●ただし、
教育学部とは異なり
附属学校
をもたない



- 学校現場との接点は、4年次の教育実習のみ
- 体験的な学びの機会を手にすることが困難

山の田中学校区のコミュニティ・スクール体制





第1回「算数大作戦」が気づかせてくれたこと

地域の教育力の一部として
学校や地域に貢献できることを自覚

学校現場との
つながりは
自分たち次第！

地域は
体験的な学び
の場となる！

算数大作戦を
私たちがもっと良くしたい！！

地域学校協働活動のきっかけ

山の田小学校 生野小学校

にじいろネット協議会

下関市立大学
教職課程

提案②生野小児童の送迎
→安全確保

提案③事前の教材研究
→学生自身の
指導力アップ

支援の
要請

支援の
提案

小学校の教員主導
から
私たち学生主導へ

学校支援活動から地域学校協働活動へ

にじいろネット協議会

下関市立大学

山の田小学校 生野小学校

第1回 2014年8月

第2回 2015年8月

第3回 2016年8月

第4回 2017年8月

夏休みの
地域学校協働活動
として定着

地域学校協働活動が与えてくれたこと

児童や先生、学校を取り巻く地域の方々とのつながり

私たち教職課程の学生が、地域の一主体として、
学校や地域から期待されるようになった

もっと地域に貢献したい！！

